

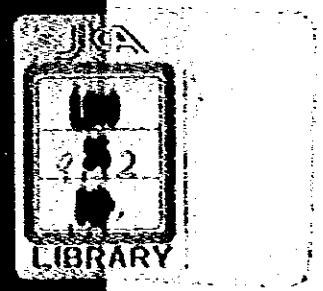
9972

昭和52年度海外開発計画調査委託事業の実績報告書

(繰越分)

昭和54年6月

国際協力事業団
鉱工業計画調査部

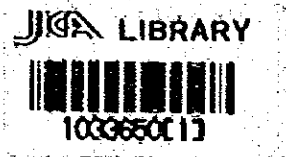


鉱計
S C
79-59

國際協力事業團	
給 5848.38	L000
送附 14564	9562
	MP

1. 昭和52年度繰越分海外開発計画調査プロジェクト別計画承認及び支出実績一覧表

予算		プロジェクト名	承認金額	承認年月日	承認番号	業務完了期限	支出金額	返湖額	目次
大規模	繰1	イラン帝国製水用製粉所建設計画調査	152,538,478	53.11.21 (53.5.1)	53通外2180号 (53通外1020号)	54年3月31日	128,328,920	24,229,558	
	繰2	フィリピン共和国カガマン上流デイドヨン水力発電 計画調査	110,703,982	54.1.31 (53.7.3)	54通外68号 (53通外1000号)	54年3月31日	109,802,871	901,061	
		52年度繰越分合計	263,242,460				238,131,791	25,130,619	



2 委託事業実施経費区分別実績総括表 (52年度契約分)

区 分	計 画 額			52年度末分			52年度への繰越分			計		
	当初計画額	1/1日変更額	2/1日変更額	承認額(A)	支出額(B)	残 額(C)	承認額(D)	支出額(E)	残 額(F)	承認額(A+D)	支出額(B+E)	残 額(C+F)
(1) 技術調査団派遣費	26件 941,398,000	26件 894,280,000	26件 1,115,906,950	34件 1,115,906,950	34件 992,110,651	23,796,299	0	0	0	34件 1,115,906,950	34件 992,110,651	23,796,299
(2) 7/1以外認定済調査団派遣費	3件 9,889,000	3件 9,895,000	3件 10,171,145	5件 10,171,145	5件 8,372,199	1,798,946	0	0	0	5件 10,171,145	5件 8,372,199	1,798,946
(3) 技術調査団長期派遣費	4件 170,432,000	4件 114,410,000	4件 113,222,947	3件 113,222,947	3件 111,702,438	1,515,509	0	0	0	3件 113,222,947	3件 111,702,438	1,515,509
(4) 大規模施設協力基盤調査団派遣費	5件 637,541,000	5件 602,689,000	5件 461,863,950	4件 1,893,259,500	4件 1,807,950,660	8,500,590	2件 263,242,410	2件 238,111,791	25,130,619	6件 462,568,368	6件 448,907,159	30,661,269
合 計	38件 1,709,250,000	38件 1,620,768,000	38件 1,601,170,000	46件 1,328,627,000	46件 1,292,985,660	35,141,340	2件 263,242,410	2件 238,111,791	25,130,619	48件 1,591,869,410	46件 1,531,092,411	60,777,963

(注) 52年度末分の残額は返還済

今日返還額は、繰越分 25,130,619 円

3 52年度(繰越)海外開発計画調査のプロジェクト別経費組目の計画額及び実績額

線	プロジェクト名	調査費	現地調査費	技術費	設備整備費	計		
							前年度	計
1	イラン輸出用製油所	計画	25,659,609	9,307,000	5,300,000	1,041,500	152,592,470	
		実績	2,926,509	25,418,122	89,010,491	5,300,000	659,500	128,308,920
		差額	15,732,224	2,241,487	8,296,509	0	381,990	24,283,550
2	フィリピンカガヤン デイトコンバクト	計画	18,666,492	6,771,205	87,894,295	1,500,000	921,900	119,722,902
		実績	18,448,059	6,662,926	87,420,145	1,500,000	709,700	109,802,871
		差額	159,445	108,279	474,150	0	212,157	701,061
合	計	計画	36,866,200	12,421,892	185,201,590	6,800,000	1,763,400	262,242,410
		実績	21,374,568	32,081,048	176,496,206	6,800,000	1,369,200	238,111,791
		差額	15,491,632	9,340,844	8,705,384	0	394,197	25,130,619

(3)

4 52年度(繰越分)実施調査の経費、現地調査期間、コンサルタント一覽表

プロジェクト名	新規 継続 の別	調査の経費				現地調査		調査業務契約者名
		事前 調査	現地 調査	現地 調査	現地 調査	人数	期間	
イラン輸出用製油所	新規		○	○		11	5/29 ~ 7/26	(株)中東協力センター
フィリピンカガヤンデイトコンバクト	新規		○	○		14	5/29 ~ 7/27	(株)新日本技術コンサルタン

No. 52 - 添1

計画申請	昭和53年5月1日 国協(統計)第5-10号
計画承認	昭和53年5月1日 外 匯 第1020号
計画変更承認	昭和53年11月21日 外 匯 第2150号
担 当	工業調査課 岩瀬林 寛男

プロジェクト名 イラン帝国 輸水用製鉄所建設計画調査

事業段階	区 介 経 費	事業内容
新規	大規模調査協力基礎調査調査費	実施調査 国内設計作業

現地調査期間 自 昭和53年2月7日
至 昭和53年6月26日
調査業務完了日 昭和53年3月31日

総支払経費 12,830,920円

1. 調査目的・内容及び結果

(1) 調査目的

現在原形のまま輸出されているイラニアンライト及びビー原形をイラン本土のポンプステーションからノックアウトにブッシュル地区へパイプライン輸送し、そこで精製処理を行なって全量輸送することを目的として製鉄所を建設する計画が日本・イラン間で検討され、本件F/Aの実施に至ったもの。

(2) 調査内容

- ① 市場調査
- ② 立地条件調査
- ③ 製鉄所設備計画の作成
- ④ 要設備インフラストラクチャーの調査
- ⑤ 経済性の検討

(3) 調査結果

- ① サイト： ブシエルのモハド・トマリ地区とする。
- ② 設備規模及びそれに付する投資額、生産コスト

精製方式	ハイドロ・スキミング型			水素化分解型		
	規 模	投資額	生産コスト	規 模	投資額	生産コスト
	BSPD 125,000	250,000	500,000	125,000	250,000	500,000
	B35 1070	1439	2444	1140	1619	2658
* 水荷時装置コスト	24.69%	22.38	21.50	25.09	22.70	21.80

* ROE 11.8%にて試算

- ③ 本調査に関しては、オノ 同現地調査に引き続き、オ2 同現地調査並びに説明ミッションを派遣の予定であったが、イラン側国内事情により、オ2 同現地調査以降の手続きを行なうことが出来ず、最終的に本件調査については、原稿作成に留まることとなった。

(4) コンサルタント名 (株) 中東協センター

2 調査日程

日通	月日	行 程	宿泊地	宿 泊 別		調 査 内 容
				日 当	寄 泊	
1	4/7	東京	検中	乙	乙	川崎、高尾、井ノ頭、小笠原、奥多摩
2	8	テヘラン	テヘラン	乙	乙	大使館陪合
3	9	テヘラン	テヘラン	乙	乙	資料整理、調査、検閲、検印、検封、検送
4	10	テヘラン	テヘラン	乙	乙	一般会議
5	11			乙	乙	
6	12			乙	乙	懇話会談
7	13	川崎、高尾、近鉄、同前	テヘラン	乙	乙	
8	14	テヘラン	テヘラン	乙	乙	
9	15			乙	乙	
10	16	テヘラン-パシエル	パシエル	乙	乙	移動
11	17	パシエル	パシエル	乙	乙	パシエル駅
12	18			乙	乙	扇形電灯施設局視
13	19			乙	乙	空中査察
14	20			乙	乙	地上査察
15	21			乙	乙	
16	22	パシエル-テヘラン	テヘラン	乙	乙	移動
17	23	テヘラン	テヘラン	乙	乙	資料整理
18	24		テヘラン	乙	乙	懇話会談
19	25	テヘラン	検中	乙	乙	移動
20	26	東京		乙	乙	帰国

3 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(1) 支 出

(単位：円)

区 分	計 画 額	実 績 額
I 調査旅費	23,238,871	2926,587
II 現地調査費	25,659,609	25,418,122
III 技術費	92,307,558	89,013,491
IV 報告書作成費	5,300,000	5,300,000
V 附帯費	1,041,500	650,520
合 計	152,538,478	128,308,920

(2) 収支決算

資 用	金 額 (円)
概算収入額	152,538,478
支出総額	128,308,920
収支差引額	24,229,558

(3) (1)の内訳

(単位：円)

区 分	計 画 額 (支 出 別 別 別 別 別 別)		実 績 額	
	中央局直管分	コンサルタント委託分	中央局直管分	コンサルタント委託分
I 調査旅費	5,716,550	17,522,321	1,168,725	6,757,862
II 現地調査費	0	25,620,609	6,540	25,411,582
III 技術費	0	92,307,558	0	89,013,491
IV 報告書作成費	0	5,300,000	0	5,300,000
V 附帯費	1,041,500	0	650,520	0
合 計	6,758,050	145,797,428	1,825,785	126,483,135

4 収支決算貸目内訳

1 調査旅費 7,926,587 円

No.	氏名 (担当)	旅行 (号)	出張期間 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当			④ 宿 泊 料			⑤ 旅行雑費 (円)	△ 計 (①~⑤) (円)		
						区別	単価(円)	日数	奇 (円)	区別	単価(円)			日数	計 (円)
1	近藤 誠一 (企画)	5	8日 4/7~4/14	東京↔テヘラン 481,600	26,750	乙	3,200	8	25,600	乙	9,800	5	49,000	0	587,150
2	笠原 允文 (業務調整)	5	9日 4/7~4/16	東京↔テヘラン 481,600	13,495	乙	3,200	9	28,800	乙	9,800	6	58,800	2,900	585,575
3	川田 通良 (団長)	1	7日 4/7~4/13	東京↔テヘラン 481,600	39,080	乙	3,800	7	26,600	乙	11,400	4	45,600	3,295	596,175
4	高垣 節夫 (市場調査)	1	7日 4/7~4/13	東京↔テヘラン 481,600	39,080	乙	3,800	7	26,600	乙	11,400	4	45,600	8,095	600,575
5	村瀬 慎男 (インフラ)	2	7日 4/7~4/13	東京↔テヘラン 481,600	35,035	乙	3,800	7	26,600	乙	11,400	4	45,600	4,295	593,130
6	小松 昭英 (サト・サ・イ)	1	20日 4/7~4/26	東京-テヘラン-パキスタン 東京-テヘラン 514,200	78,160	乙	3,800	20	76,000	乙	11,400	17	193,800	2,318	864,478
7	富山 市生 (港湾土木)	1	18日 4/9~4/26	東京-テヘラン-パキスタン 東京-テヘラン 514,200	78,160	乙	3,800	18	68,400	乙	11,400	15	171,000	5,000	826,760
8	森 繁康 (木材・インフラ)	2	18日 4/9~4/26	東京-テヘラン-パキスタン 東京-テヘラン 514,200	70,070	乙	3,800	18	68,400	乙	11,400	15	171,000	2,318	825,988
9	柳川 太 (土質調査)	2	18日 4/9~4/26	東京-テヘラン-パキスタン 東京-テヘラン 514,200	70,070	乙	3,800	18	68,400	乙	11,400	15	171,000	2,210	825,870
10	渡中 浩夫 (工事計画)	2	18日 4/9~4/26	東京-テヘラン-パキスタン 東京-テヘラン 514,200	70,070	乙	3,800	18	68,400	乙	11,400	15	171,000	318	823,988

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	出張 期間 (日数)	①航空賃 (円)	②車賃料 (円)	③日当				④宿泊料				⑤旅行雑費 (円)	合計 (①~⑤)(円)
						地域	車種 (円)	日数	計 (円)	地域	車種 (円)	日数	計 (円)		
11	橋本信之 (製剤技術)	3	18日 4/9~4/26	東京-テラン-アムステルダム 東京-テラン 544,200	66,000	乙	3200	18	57,600	乙	9,800	15	147,000	5,668	790,498
合計				5,493,200 ^円	586,180 ^円	541,400 ^円				1,223,800 ^円				36,407 ^円	7,926,587 ^円

II 現地調査費 25418/122月

貨目	円貨額 (円)	米ドル	現地通貨	
			イラン・リヤル	
各貨分	車両等借上費	1,000,182	4,400 ⁰⁰	8,300
	資機材等購入費	117,748		
	会議費	224,443		90,615
	交際手配料及運賃	174,206		
計	1,411,582	4,400 ⁰⁰	82,645	
円貨分	資機材換料	24,000,000		
	事務用品	3,850		
	医薬品	2,690		
	計	24,006,540		
合計	25,418,122			

III 技術費 89,013,691月

(1) 直接人件費

① 現地調査

区分	単価(人・日)	日数(日)	人	金額(円)
1号	26,800	23日/30日 × 17	1	349,293
1	26,800	23日/30日 × 7	2	287,652
1	26,800	23日/30日 × 15	1	308,200
2	25,000	23日/30日 × 7	1	134,166
2	25,000	23日/30日 × 15	3	862,500
3	21,600	23日/30日 × 15	1	248,400
計		113	7	2,190,211

③ 国内設計作業

区分	単価(人・日)	人・月	金額(円)
特号	40,000	23日 × 0.5	460,000
1号	26,800	23日 × 2.0	5,547,600
2号	25,000	23日 × 20.5	11,787,500
3号	21,600	23日 × 20.5	10,134,720
4号	17,200	23日 × 5.0	1,978,000
5号	13,900	23日 × 7.0	2,825,900
6号	9,600	23日 × 5.0	1,104,000
計		674	30,847,720

(1) の計(④+⑤) 36,037,731

(2) 諸経費 36,037,731円 × 90% = 32,434,139

(3) 技術経費 (36,037,731円 + 32,434,139円) × 30% = 20,541,621

合計(1)-(3) 89,013,691

IV 報告書作成費 5,300,000月 V 附帯費 650,520月

貨目	金額(円)
印刷製本費	5,300,000

貨目	金額(円)
会議費	82,480
その他	568,040
合計	650,520

No. 53 - 様2

計画申請	昭和54年11月28日 国協(鉄骨)第7689号
計画承認	昭和54年12月3日 計画第1000号
計画変更承認	昭和54年1月31日 計画第1000号
担当	資源調査課 長 末森 満

プロジェクト名 フィリピン共和国カガマン上流デイドヨン水力発電開発計画調査

事業段階	区分経費	事業内容
新規	大規模開発協力基礎調査河川調査費	実施調査 国内設計作業

現地調査期間 自 昭和54年11月28日
至 昭和54年12月31日
調査業務完了日 昭和54年12月31日

総支払経費 109,802,871 円

1. 調査目的・内容・結果

<p>(1) 調査目的</p> <p>フィリピン共和国ルソン島における電力需給予測上、1978年頃の増加需要に対応する発電設備の建設が必要とされ、当国の燃料事情より水力発電開発がクローズアップされている中、ルソン島カガマン河上流のデイドヨン地点は水力発電に適しており、この建設計画に必要なフィジビリティ調査を実施する。</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>デイドヨン水力発電所及び河川送電線の建設計画に必要なフィジビリティ調査のための現地調査及び国内設計作業(一部)を実施した。</p>	<p>(3) 調査結果</p> <p>1. ダムサイトはNo.2(ロックフィルダム)とNo.3(ロックフィルないしはコンクリートダム)を選択し、ダム高を変えて検討した結果、デイドヨン水力発電開発に適するのはNo.3コンクリートダムでダム高を高くする程有利である。</p> <p>2. 発電所開形式については地上式2案(一段、二段開発) 地下式2案(上流案、下流案)が検討の対象に決定され、比較の結果、最適案は地下式上流案で、次に地上式一段開発案も決定したが、最終的結論については今後の調査が待たれる。</p> <p>(4) コンサルタント名 (株)新日本技術コンサルタント</p>
--	--

No.	氏名	担当	派遣期間 (日)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	地域別着泊		
													マニラ	現地	
1	池田正時	総括	15	6	13									16	29
			31							16	15			14	17
2	千秋賀弘	水文	45	6	13									16	29
3	弓削興男	地質	45	6	13									16	29
			30							16	15			13	17
4	岡村芳郎	電気	30	6	4									18	12
5	山口善三郎	農業	30	6	4									14	16
6	珠玖泰吉	経済	30	6	5									30	0
7	土居元之	土木	45	6	13									16	29
8	柴田正	ボイラ	35							16				35	40
9	村上哲	材料	30							16				40	30
10	高加巧	土木	45	6	13							26		16	29
11	芳野康夫	測量	120	6				2						31	29
12	川里真介	物理探査	35							16				35	40
13	出口直彦	環境	30	6	4									14	16
14	末森清	業務調整	16	6	2									8	7

3 調査業務収支決算総括表

(1) 収支決算総括表

(A) 支出

(単位：円)

区 分	計画額	変更額	変更後額	実績額
I 調査旅費	15,519,475	△1,900,000	13,619,475	13,447,057
II 現地調査費	6,771,285	0	6,771,285	6,662,926
III 技術費	92,936,729	△5,042,653	87,894,275	87,483,145
IV 報告書作成費	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000
V 附帯費	921,900	0	921,900	702,743
合 計	117,649,589	△6,942,653	110,706,936	109,802,871

(B) 収支決算

費用	金額 (円)
概算受入額	117,649,589
計画変更承認額	110,706,936
支出総額	109,802,871
収支差引額	901,061

(ハ) (1)の内訳

(単位：円)

区 分	計画額(変更前)の場合合計額		実績額	
	事業直接費分	コンサルト委託分	事業直接費分	コンサルト委託分
I 調査旅費	7,881,050	12,828,369	8,671,946	12,079,860
II 現地調査費	1,560,850	6,614,735	1,457,950	6,576,976
III 技術費	0	87,894,275	0	87,483,145
IV 報告書作成費	0	1,500,000	0	1,500,000
V 附帯費	921,900	0	702,743	0
合 計	1,864,355	108,952,579	1,222,389	108,579,981

4 収支決算費目内訳

1 調査旅費

1944.05.7 月

No.	氏名 (担当)	格付 (席)	旅費期間 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当			④ 省 泊 料			⑤ 旅行雑費 (円)	合 計 (①~⑤) (円)		
						地域	単価 (円)	日数	計 (円)	地域	単価 (円)			日数	計 (円)
1	池田正時 (総 括)	1	45日 7/6~9/19	大阪 - マニラ 146,800	94,910	乙	3,800	45	171,000	乙	11,400	44	501,600	5,696	920,006
2	()	1	31日 7/6~7/26	大阪 - マニラ 128,058	(94,910 × 1/2) 23,727	乙	3,800	31	117,800	乙	11,400	30	342,000	696	612,281
3	千秋賀弘 (水 文)	1	45日 7/6~9/19	大阪 - マニラ 146,800	94,910	乙	3,800	45	171,000	乙	11,400	44	501,600	5,696	920,006
4	石川田英男 (地 質)	1	45日 7/6~9/19	東京 - マニラ 152,600	94,910	乙	3,800	45	171,000	乙	11,400	44	501,600	1,696	921,806
5	()	1	30日 7/6~7/24	東京 - マニラ 138,120	(78,160 × 1/2) 19,540	乙	3,800	30	114,000	乙	11,400	29	330,600	1,696	698,956
6	周村芳郎 (電 気)	1	30日 7/6~7/24	大阪 - マニラ 146,800	78,160	乙	3,800	30	114,000	乙	11,400	29	330,600	5,696	675,256
7	山口善三郎 (農 業)	1	30日 7/6~7/24	東京 - マニラ 152,600	78,160	乙	3,800	30	114,000	乙	11,400	29	330,600	0	675,260
8	珠玖泰吉 (経 済)	1	30日 7/6~7/24	大阪 - マニラ 146,800	78,160	乙	3,800	30	114,000	乙	11,400	29	330,600	5,696	675,256
9	土居元之 (土 木)	2	45日 7/6~9/19	大阪 - マニラ 146,800	85,090	乙	3,800	45	171,000	乙	11,400	44	501,600	5,696	910,186
10	柴田 正 (ボ-リング)	3	75日 7/6~9/31	大阪 - マニラ 78,400	80,180	※1 乙	2,800 3,200	15 60	43,200 192,000	※1 乙	8,822 9,800	15 69	132,300 578,200	5,000	1,104,280
							計	75	235,200		計	74	710,500		

No.	氏名 (担当)	格付 (号)	旅費期間 (日数)	① 航空賃 (円)	② 支度料 (円)	③ 日 当			④ 宿泊料			⑤ 旅行雑費 (円)	合 計 (①~⑤) (円)		
						地区	単価 (円)	日数	計 (円)	地区	単価 (円)			日数	計 (円)
11	村上 哲 (材料調査)	4	70日 7/16~7/26	大阪 - マニラ 128,858	75,270	乙	2,880 3,200 計	10 60 70	28,800 192,000 220,800	*1 乙	8,820 9,800 計	10 59 69	88,200 578,200 666,400	0	1,090,528
12	高知 巧 (土木)	5	45日 7/6~7/19	大阪 - マニラ 146,800	65,450	乙	3,200	45	144,000	乙	9,800	44	431,200	5,696	793,146
13	芳野 康夫 (測量)	5	120日 7/6~7/2	大阪 - マニラ 146,800	77,000	*2 *1 乙 計	2,880 2,880 3,200 計	31 30 59 120	79,680 86,400 186,080 354,560	*2 *1 乙 計	2,880 2,880 9,800 計	31 30 53 119	243,040 268,800 568,400 1,076,040	5,000	1,659,400
14	出口 直彦 (環境)	5	30日 7/6~7/4	大阪 - マニラ 146,800	53,900	乙	3,200	30	96,000	乙	9,800	29	284,200	5,696	586,596
15	川里 真介 (物理調査)	6	75日 7/16~7/31	大阪 - マニラ(片通) 73,400	65,450	*1 乙 計	2,430 2,700 計	15 20 75	36,450 162,000 198,450	*1 乙 計	7,350 2,700 計	15 59 74	110,200 480,800 591,000	5,000	926,800
16	末森 清 (業務調整)	5	16日 7/6~7/11	東京 - マニラ 152,600	*53,900 × 1/4 - 270円 = 13,205	乙	3,200	16	51,200	乙	9,800	15	147,000	3,189	367,194
合 計				2,168,336円	1,078,022円				2,558,010円				7,580,640円	62,149	13,447,057

*1 R42 日当宿泊の定額控除の規程適用

* 5-2 手帳精算 (パル-サンタ町電源開発) の竹本田員の調査旅費の預払い分 (270日) を本件にて処理した。

II 現地調査費

6,662,926 円

費目	円貨額 (円)	現地通貨 (ペソ)	
		コンサル	直営
僱人費	1,402,202	P 58,972.20	0
車両等借上費	3,646,119	P 130,861.91	0
通信運搬費	175,211	P 6,291.15	0
資料採集購入費	160,700	P 5,767.20	0
現地報告書作成費	20,576	P 809	
会議費	136,350	0	Y 54,230.58 P 262.58
計	5,562,031	P 194,733.26	
円貨分	資料採集購入費	1,091,295	
	資料採集費		
	車料用品	4,810	
	医薬品	4,790	
	計	1,100,895	
合計	6,662,926		

III 技術費

87,483,145 円

(1) 直接人件費

(A) 現地調査

区別	学術(人・日)	月数(月)	人数	金額(円)	学術(人・日)	月数(月)	人数	金額(円)
1	26,800	23日/30日×76	1	1,541,546	4	17,200	23日/30日×70	1,523,066
1	26,800	23日/30日×45	1	924,600	5	13,900	23日/30日×45	472,650
1	26,800	23日/30日×75	1	1,541,000	5	13,900	23日/30日×120	1,260,400
1	26,800	23日/30日×30	3	1,949,200	5	13,900	23日/30日×30	315,100
2	25,000	23日/30日×45	1	862,500	6	9,600	23日/30日×45	412,160
3	21,600	23日/30日×75	1	1,282,000	計		727	4,364,222

(B) 屋内設計作業

区別	学術(人・日)	人・月(人・月)	金額(円)
1号	26,800	23日×70	4,314,800
2号	25,000	23日×70	4,025,000
3号	21,600	23日×75	4,719,600
4号	17,200	23日×40	1,582,400
5号	13,900	23日×10.5	3,308,550
6号	9,600	23日×2.0	441,600
計		32.5	18,391,950

(1) 計(A)+(B) = 29,756,172

(2) 諸経費 29,756,172 × 110% = 32,731,789

(3) 技術経費 (29,756,172円 + 32,731,789円) × 40% = 24,795,181

合計(1)~(3) = 87,483,145 円

IV 報告書作成費

1,500,000 円

費目	金額(円)
印刷製本費	1,500,000

V 附帯費

709,743 円

費目	金額(円)
交通費	54,400
会議費	148,710
僱人費	305,600
その他	249,000
合計	709,743

JICA